

知事記者会見の概要

日 時：令和7年1月8日(水) 10:00～10:58

場 所：502会議室

出席記者：12名、テレビカメラ5台

1 記者会見の概要

広報広聴推進課長開会の後、代表・フリー質問があり、知事が答えて閉会した。

2 質疑応答の項目

代表質問

- (1) 消滅可能性自治体について

フリー質問

- (1) 県知事選の公約について
- (2) 県知事選の投票率について

(※知事選立候補予定者としての質疑応答部分を除き掲載しています。)

<幹事社：朝日・荘日・NHK>

☆報告事項

知事

皆さん、おはようございます。

冬も真ただ中となっております。インフルエンザも、県内、警報レベルの地域であったり、注意報レベルの地域であったり、大変流行しておりますので、県民の皆様には、くれぐれも体調管理に気をつけていただきますよう、よろしくお願いたします。

これからの気象情報について、申し上げます。

山形地方气象台によりますと、本日 8 日から明後日の 10 日にかけて、冬型の気圧配置が強まるため、県内では気温が低くなり、降雪量も多くなることが見込まれております。

大雪や吹雪による交通障害の発生も心配されますので、県民の皆様には、時間に余裕を持って行動し、自動車を運転する際は、より慎重な運転を心がけていただきますようお願いいたします。

また、県内では、雪下ろしや除雪作業中の事故も発生しています。昨日 7 日午前 10 時時点で、7 名の方が負傷ということで確認をされております。

県では、明後日 10 日から 2 月 9 日までの 1 か月を「雪害事故防止強化月間」とし、市町村や関係機関・団体と連携して、雪害事故防止の呼びかけを重点的に行うこととしております。10 日の 12 時から県庁 1 階ロビーにて、「雪害事故防止キャラバン」出発式を行う予定です。

県民の皆様には、雪下ろしの際は、命綱・ヘルメットを着用するなどの安全対策を行っていただくとともに、屋根からの落雪や路面の凍結によるスリップ事故に十分気をつけてくださいますようお願いいたします。

私からは以上です。

☆代表質問

記者

おはようございます。荘内日報社の長南と申します。それでは、幹事社を代表しまして、2 点お聞きいたします。

昨年 12 月に発表されました山形県の人口が 100 万 8,775 人と発表されたかと思ひます。この調子でいくと、本年度中に 100 万人を切る見込みになっているのかなと感じるところでございまして、昨年 4 月に「人口戦略会議」において本県 35 市町村の 28 の自治体が消滅のある可能性のある自治体と発表されております。昨年 4 月に同様の質問がされていたかと思ひますが、改めて今の現状の知事の所見についてお伺いしたいと思ひます。

あわせて、今年 3 月に「第 4 次山形県総合発展計画」が 5 年を迎えるということで、「第 5 次山形県総合発展計画」の策定がされるかどうか、それを踏まえた上で、知事が描いている県のビジョン、県の人口ビジョンについてご教示いただけましたら幸いです。

(補足：「第 4 次山形県総合発展計画」は、県づくりの基本的な考え方と基本目標、その実現に向けた政策・施策の展開の方向性を示す「長期構想」及び長期構想の計画目標を実現するための主要な取組みの方向性を示すとともに、その進行管理のための目標管理や KPI (重要業績評価指標) を設定する「実施計画」からなり、その計画期間は、「長期構想」については令

和 2 年度から概ね 10 年間、「実施計画」については令和 2 年度から 5 年間となっている。「実施計画」の終了年度には、その成果を総括し、次期の「実施計画」を策定することとなっている。）

知事

はい。それでは、お答え申し上げます。まず、所感ということであります。

「消滅可能性自治体」は、「人口戦略会議」が昨年 4 月に公表した人口減少に関する分析の一つでありまして、2020 年から 2050 年までの 30 年間で 20 歳から 39 歳までの若年女性人口が 50%以上減少する見込みの自治体のことでもあります。

この分析は、子どもを産む中心の世代である若年女性人口に着目したものであり、県としましても、改めて、若者・女性をはじめとする社会減対策に力を入れていく必要があるとの思いを強くしているところであります。

また、人口につきましては、総数も大事なんですが、世代間の人口の偏りによる高齢化率の上昇、出生率の低下といった構造的な課題があり、大きな危機感を持っております。

記者

はい。ありがとうございます。

明日、告示の選挙になりますけども、天候が悪い中、大変かと思いますが、どうかご自愛いただいで頑張ってくださいと思います。

知事

ありがとうございます。

記者

幹事社からは以上でございます。